

# 1月 給食だよ

おひさま岡町保育園 12月26日発行



## よいお年をお迎えください

12月は、感染症が流行しました。登園していた子どもたちも、“なんか、きょうのきゅうしょくしずかやな。さみしいな。”と思わず呟いてしまうほどでした。元気な姿がそろった日には、笑顔いっぱいおかわりいっぱいでした。改めて、供食の大切さを感じました。

今年は、どのクラスでも日常の中に子どもたちが食べることを楽しめる機会をたくさん作ってきました。毎月おたよりで、子どもたちの様子をお伝えしてきました。食べるまでの間に、“楽しい”思いを友だちと共有し、おいしく味わうことで、食べることが大好きな子どもたちに育ってほしいと願っています。

来年も、保護者の方と一緒に子どもたちを真ん中に、共に考え成長を喜びあっていけたらと思っています。よろしくお願ひいたします。



## <1月の給食は…>

早春にいち早く芽吹く七草には邪気を払う力があると言われていす。そのため、無病息災を祈って七草粥を食べます。

また七草はいわば日本のハーブと言われ、胃腸に負担のかからないお粥にすることで、

正月疲れが始めた胃腸の回復によいとされています。

6日(金)の給食で食べます。

### 七草粥



おもちは、ハレの日に食べるとされており、鏡餅には神様が宿ると言われています。

今年度は、4日(水)に鏡餅をつくって神様をお迎えし、6日(金)に「鏡開き」をしたいと思ひます。

年神様にお供えした物を食べることで、その年一年健康に過ごせると言われています。鏡開きには無病息災を願う意味も込められています。みんなで今年一年の健康をお願いしながら、伝統行事を楽しめたらと思ひます。



## しいたけを栽培したよ!



12月、つくしぐみ、たんぽぽぐみの子どもたちは旬のしいたけの栽培を楽しみました。

菌床が埋め込まれた木に毎日水をかけて育てました。

毎日見ているとある日しいたけが生えていることにびっくり!!

“き、き、きのこー!!”と、大喜び。早速自分たちで収穫してみることにしました。

“とれたー”と、みんなで見せ合いっこしたり、匂ってみたり、割ってみたり…

自分たちで収穫したきのこに興味津々でした。

“どんな味かな?”と目の前でフライパンで調理してみると、しいたけが苦手だった子もすぐに口に入れ“おいしー!!”と一言。採れたてのきのこは、とても柔らかく、優しい甘味がありました。その後もしいたけは何度か収穫でき、味わうことができました。

1から育てる過程に関わることで興味関心がぐんと広がり食べてみたいと思ひも膨らんでいる姿がありました。苦手なものも、少しでも口に入れてみたいと心が動くような取り組みを今後も考えていけたらと思ひます。



## おもちつき大会

12月におもちつき大会をしました。重たい

杵を一生懸命持ち上げて、つくとおもちのもちもちした感触を杵から感じている子どもたちでした。

つくたてのおもちの味は格別で幼児ではきなこもち、おもち入り豚汁うどん、しょうゆ焼きもちをたらふく味わいましたよ。

日本の伝統文化を子どもたちに伝承することも、保育の中で大切にしています。



## 年長児として…

ひまわりぐみの子どもたちが、本園に小さいお友だちのお世話

に来ています。給食の配膳をしたり、お箸を使ったり、正座で食べる姿を見せてくれています。

本園の子どもたちも、お兄ちゃんお姉ちゃんの様子をジーッと見つめたり、配ってもらおうと満面の笑みがこぼれます。ひまわりぐみの子どもたちも、カッコいい姿を見てほしくて、見本になって食べようとする姿があります。

異年齢の関わりの中で憧れたり、大きい自分を感じる機会も大切にしたいと思ひます。

